

千葉県議会議員

ふじしろ政夫 と共に県政・市政を変えよう！

発行 ふじしろ政夫

政務調査報告ニュース 2011年9月号

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50

TEL & FAX 047-445-9144

Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

後援会ホームページ <http://e-kamagaya.com/>



ハッ場ダム建設を進めてよいのか！

2009年の政権交代によりこれまでの無駄な公共事業を見直そうと、前原国交大臣は事業費4600億円のハッ場ダム建設中止を表明。また、1952年から国の計画に振り回された住民の生活再建の為「生活再建支援法」の制定も約束しました。しかし後退に後退を重ね、今や、湖面二号橋・三号橋・一号橋と次々とダム建設を前提にした施設を造っています。

有識者会議や検証・検討の場ではほとんどダム推進の立場の人々だけが集まっての議論、市民参画なし、原子力安全・保安院と同様に身内での検討です。“推進の結論”を出しそうな状況です。

利水 すでに水が余っている現実を無視して大量の水需要を前提として、ダム建設の再開を主張するのは無駄でないのか？（人口減少・節水型機器の普及で水需要が減ることを国交省の研究で報告しているのに）。2010年東京都490万m³/日の実績に対し需要予測は600万m³/日。

治水 1947年カスリーン台風で利根川流域の大洪水。この対策としてハッ場ダムが計画されましたが、カスリーン台風の再来時ダムの効果はゼロ（自民党政府答弁）。今すべきことは、河道整備と堤防の増強です。6都県知事も「堤防からの漏水が至る所で発生している」と2009年の共同声明の中で指摘しています。

発電 ハッ場ダムが出来ると吾妻川の水力発電に影響。流域では年22,400万kw時が減電され、それ故東電に数100億円の減電補償を払うこととなります。ハッ場ダムの発電量は4100万kw時です。・・・どうするの？

地すべりと代替地の危険性 もともと脆弱な地層での代替地の造成は危険性が指摘されています。30m盛土で大丈夫なの？8/7には打越代替地から大量の土砂が流出。

工期延長で事業費増額 仮にハッ場ダム事業を再開したら工期は2015年から2018年に延長・事業費も増額。付け替え道路・鉄道の完成がおぼつかない状態で本体工事に入れません



ハッ場ダムを批判する 嶋津さん

“電力入札”で安い電気を！

鎌ヶ谷市はすべての電気を東電から購入しています。入札をかけて他の事業者から購入することを考えたことも無いとのこと（7月末）。『検討すべきでは…』と提言しました。千葉県庁の本庁舎だけでも入札で1852万円11%以上の効果（JX日鉱日石エネルギー）。特定規模電気事業者（PPS）は全国で45、千葉県登録でも10。国も防衛省以外は東電以外から購入です。新エネルギー政策への転換のためにも“電力入札”を実施しましょう

9月千葉県議会のご案内

9月21日開会～10月18日閉会

9月28日～ 質疑並びに一般質問

会派を代表して質疑を行います(9/29～30)

▼三番瀬ラムサール条約登録に向け

▼県道の歩道整備について

▼ハッ場ダム中止へ

▼官製ワーキングプアと公契約条例について

▼北総鉄道運賃値下げをどう実現するか

▼脱原発・再生可能エネルギーについて

▼野馬土手・捕込の文化的価値に光を（予定）



—市内情報—

側溝が危ない!



鎌ヶ谷市は小中 14 校の放射性物質の除染作業を夏休みに実施しましたが、県立高校はやってません。どうなのかな? 西高と鎌高の校庭等の 1m の高さで地表での放射線量の測定をしました。西高校舎内応接室は 0.08 マイクロシーベルト/時。野球場、グラウンドは 1m で 0.25~0.18 地表は 0.45~0.25 でした。側溝の U 字溝は 0.83~0.68 とこれまでの放射性物質が集まってしまった状況が数字で明らかになりました。

鎌ヶ谷高校では玄関口 0.06、グラウンド・テニスコートなど 1m で 0.15~0.20 地表でも 0.21~0.25 でしたが、側溝は値が高かったです。体育館わきの側溝は 2.48 マイクロシーベルト/時と非常に高い状況。早急に除染すべきです!

手賀沼流域下水道

—— 17,590 ベクレル/kg 検出 ——

柏市の南部清掃場の焼却灰は 7 万ベクレルのセシウムが、手賀沼流域下水道の汚泥の焼却灰からは 1 万 7590 ベクレルが検出されました。千葉県は埋め立てできる 8000 ベクレル未満にするため脱水汚泥で処理(?)、10 億円の費用がかかります。鎌ヶ谷市は約 4000 万円の負担。

農産物放射線量測定器購入

—— 鎌ヶ谷市も購入 ——

農林水産省安全局から簡易測定器購入への 1/2 補助が示されました。実施要望市は 7/21 現在 10 市、鎌ヶ谷市も梨・野菜の検査をする為要望しております(397 万円)。市は 8 月上旬に予備費で購入し検査を開始しています。又、消費者庁も 7/29「地方消費者行政活性化基金」の活用で食品の安全のため測定器を購入できる旨のメニューを出してきました(100%活用)。市場での安全確認に有効のようです。省庁間のすり合わせをきちんとすべきでは・・・

「放射線の生物影響」を語る

—— 崎山比早子さん ——

高木学校・「原子力教育を考える会」の崎山比早子さんは、「医療被曝は日本が世界一多い」という事実から語り始めました。

医療による被曝も、原発事故による被曝も被曝としては同じもの。放射線の健康への危険性を指摘しました。そして「放射線を出す放射性物資がたくさんあり、その物質を処理する方法がない」原発の危険性の本質を語りました。福島第一原発 1 号炉~4 号炉にある核燃料・使用済燃料は 851t もあるとのこと。

放射線の人体への影響を DNA への損傷として説明し、100 ミリシーベルト以下の低線量における確率的影響・晩発障害を「どんな少量でも影響がある」と語りました。



“ハエ取り巻紙”送る

鎌ヶ谷市が石巻市へ自転車 100 台送ったことや、現地ボランティアセンターで鎌ヶ谷市民



と会ったことなどを県政報告会で話し合っているうちに参加者からのカンパで、ハエ取り巻紙や乾電池式ベープを送ろうということになりました。その場で 18,055 円、後日現物カンパもあり「乾電池式

ベープ 19 台とハエ取り巻紙 385 個」を石巻市へ送りました。(8/5)

鎌ヶ谷市の職員も職員間のカンパでハエ取り巻紙などを購入し、現地ボランティアをしている倉持さんに届けてもらったとのこと。

§ お知らせ §

- ❖ さようなら原発 1000 万人アクション
9 月 19 日 13:00~ 明治公園
- ❖ フクシマ・ミナマタ国策を問う
10/1 12:30~ きららホール 1000 円

